

組合員数113,240人
支部数 937
読者数 69,217人
(連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。



第368号 2020年8月15日(土)
(通巻第567号)
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人 金子 民夫 月刊1部100円(組合費を含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



品川上空を超低空飛行 (品川支部・大寿美幸子さん撮影)

羽田新飛行ルート 都心を超低空で急降下

轟音に住民悲鳴

おびやかされる命、くらし

羽田空港への新ルートが開始されたのは、コロナ禍が深刻になってきた3月29日。南風が吹く日の午後3時から7時までの間、2分あるいは4分間隔で東京都心上空を急降下して羽田空港に着陸する。超低空で飛行する航空機の轟音に、ルート近隣の住民から不満が爆発し、新ルートの運行停止を求める訴訟も起きています。国民の命と暮らしを顧みず、安倍政権が追求する「国益」とは一体なんなのか。

賛否問う条例制定運動

東京・品川区

「羽田新ルートの大本には、安倍政権の掲げるアジアの成長と活力を日本に取り込むという『アジア・ゲートウェイ構想』があるのです。こう語るのは、年金者組合品川支部組合員で「羽田増便による低空飛行ルートに反対する品川区民の会」共同代表の秋田操さんです。「世界中から観光客を集める滞在型観光推進のために羽田、成田空港の容量を世界最高水準にする」。2018年1月の安倍首相の施政方針演説です。応援役は小池東京都知事で「国の対策(騒音など)を評価する一着実に進めよ」と住民の反



騒音と危険から生活を守るためにがんばる品川支部の仲間たち(左から大寿美さん、長嶺さん、秋田さん)

音などを評価する一着実に進めよ」と住民の反

対、不安を抑えようとした。もちろん、羽田新ルートについての住民説明会は開かれましたが、区職員が司会を務めて、反対意見やきびしい指摘を

しかしやはり超低空飛行の騒音はすさまじく、品川区でも80デシベル(地下鉄車内並み)を記録しました。区内八潮団地に住む長嶺光子さんは「国が決めたのだから仕方ないという住民も、これは何とかしなくてはと変わってきた」と語りま

部品や氷塊など 落下物も大問題



桜井さん

航空機からの部品や氷塊など落下物も大問題です。2019年1年間に、日本の7大空港(羽田、成田、関空、中部、新千歳、福岡、那覇)で1000件以上の落下物が確認されました。整備対象ではない小さな部品でも、落下して人に当たれば命に関わります。住民説明会で国交省も危険性を否定しません。こうした声を明確にしようと、「羽田新飛行経

パイロットも恐れる
国際標準超える降下角

羽田新ルートは騒音だけの問題ではありません。飛行そのものが危険なのです。羽田新ルートは最終的な着陸態勢に入る最終進

入地点と、滑走路上の着陸地点を結んだ降下角が、現行(世界標準)の3・0度から3・45度へと急になりました。降下角3・45度はスタビライ

ズド・アプローチという「パイロットの憲法」と呼ばれる安全規定に違反する危険なものです。急な降下角にせざるを得ないのは、南風時の最

終進入地点が米軍機などを往來させるため、米軍が管制をしている「横田空域」の中に羽田新ルートは位置するからです。1都6県の上空にかかる巨大な「横田空域」の米軍機の飛行を妨げないよう、最終進入地点は3800フィートに設定され、降下角は3・45度と

埼玉県南部上空で90度急旋回しての進入もニアミスを引きかねません。世界の動向を見ても、都心上空を飛行する必要のない郊外の空港に国際便を移しています。都民の安全、乗客の命を守るため、国内線は羽田空港、国際線は成田空港という原則に戻し、守るべきです。

8年前の夏、東京・新宿駅で建設労働者のアスベスト被害国家賠償を求める街頭宣伝を行った。訴えを聞いていた右翼のおやじがきて「署名用紙をくれ。俺たち右翼も労働組合も、悪い資本家、政府を許さないのは同じだ」と言った。

その2か月前、横浜地裁で「国、アスベストメーカーに違法性なし」の不当判決が出た。怒りに燃えて建設労組は運動を強め、弁護団も総力を挙げて反論した。それから、「原告勝訴、国断罪」の判決が10も続き、政府を追い詰めている。

横浜で不当判決を下した裁判長も転任先では補償を広げての国敗訴の判決を下した。裁判長の法解釈を変えさせたのは、右翼も共感した「政府、資本の不法は許さない」という世論の高まりだったに違いない。

年金裁判の不当判決を覆せるのは、世論の高まりしかない。自分の孫、子の年金生活を守るためにもう一汗かこう。



8年前の夏、東京・新宿駅で建設労働者のアスベスト被害国家賠償を求める街頭宣伝を行った。訴えを聞いていた右翼のおやじがきて「署名用紙をくれ。俺たち右翼も労働組合も、悪い資本家、政府を許さないのは同じだ」と言った。